



東京をもっと移動しやすく、もっと「わたしだけ！」の東京へ

「my! 東京 MaaS」いよいよ発進、新アプリ「東京メトロ my!アプリ」登場！

マルチモーダルな経路検索、ウィズコロナにおける移動の安心を提供する「混雑見える化」にも対応

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）は、東京における大都市型 MaaS (Mobility as a Service) の取組み「my! 東京 MaaS」の一環として、MaaS 機能を実装した新アプリ「東京メトロ my!アプリ」を8月27日（木）に公開します。

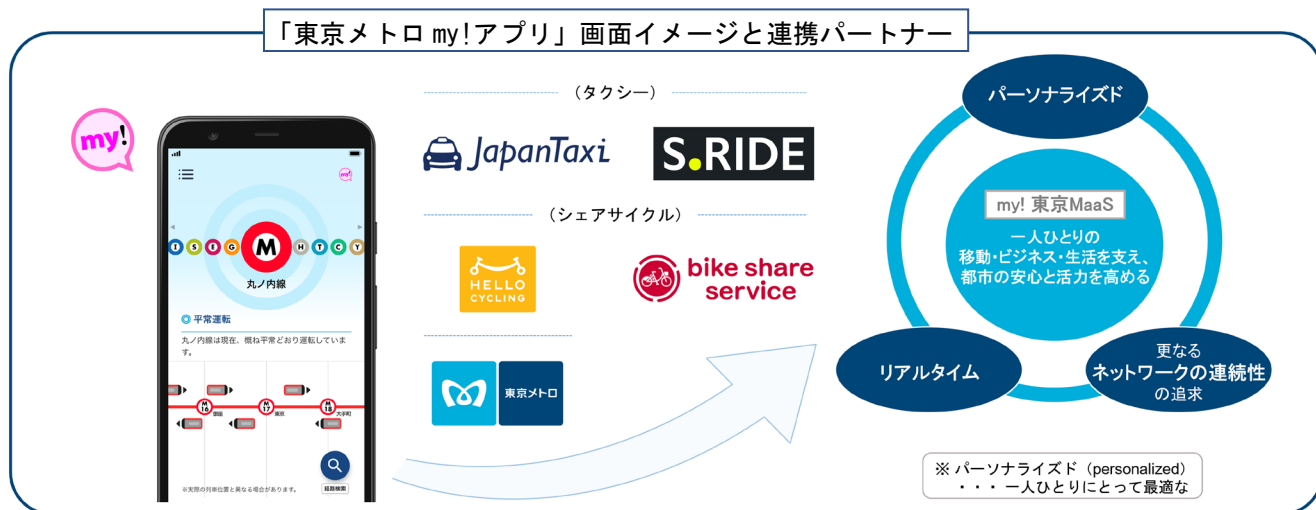
「東京メトロ my!アプリ」は、これまでの東京メトロアプリを段階的にリニューアルするもので、鉄道公式アプリとしてニーズの高い、リアルタイムな運行情報・列車走行位置がより分かりやすくなるようデザインを刷新します。

また、今後推進する「my! 東京 MaaS」の取組みの第一歩として、新たに鉄道・バス・タクシー・シェアサイクルを含むマルチモーダルな経路検索に対応します。特に、タクシーアプリ「JapanTaxi」「S.RIDE®」や、シェアサイクルサービス「HELLO CYCLING」「bike share service」と連携し、経路検索の結果を引き継いで各アプリを起動する（別紙3参照）等、出発地から目的地まで連続性の高いスムーズな移動体験を実現します。

さらに、今回のアプリ公開を機に、「混雑見える化」の取組みを拡大します。これまで一部区間・駅の混雑状況を公式ホームページに掲出してまいりましたが、ウィズコロナにおいてもより安心して快適に地下鉄をご利用いただけるよう、東京メトロ全9路線について、列車内の混雑状況 342 区間（全区間）、改札口の混雑状況 171 駅（当社管理駅 全駅）がアプリで確認できるようになります。

今後も「東京メトロ my!アプリ」には、「移動のしやすさの追求」「健康応援」「ビジネス加速」「東京を楽しむ」等、多様なパートナーと東京の移動に新たな価値を共創するべく、様々な新機能を追加予定です。これらの取組みを通じて、安心して快適な移動・ビジネス・生活を支え、お客様一人ひとりの“新たな日常”を将来にわたってサポートしてまいります。

「東京メトロ my!アプリ」の詳細は、別紙のとおりです。



【参考】2020年3月25日（水）付けニュースリリース『大都市型 MaaS 「my! 東京 MaaS」 始動！』

URL : https://www.tokyo-metro.jp/news/images_h/metroNews20200325_34.pdf

「東京メトロ my!アプリ」詳細

1 アプリ名称

東京メトロ my!アプリ

2 公開日

2020年8月27日（木）

3 アプリ機能

- (1) リアルタイムな運行情報・列車走行位置、各駅情報など 【デザイン刷新】
- (2) 鉄道・バス・タクシー・シェアサイクルを含む出発地から目的地までの経路検索 【新たな機能】
経路検索結果からタクシーアプリ・シェアサイクルサービスなどへの連携 【新たな機能】
- (3) 列車内・駅改札口の「混雑見える化」：列車内 342 区間、改札口 171 駅 【新たな機能】
(全 9 路線・全区間) (当社管理駅 全駅)

4 利用料金

無 料（通信料はお客様ご負担となります。）

5 対応機種・OS

- ・ iPhone : iOS 12.0 以降
- ・ Android : AndroidOS 6.0 以降



(App Store)



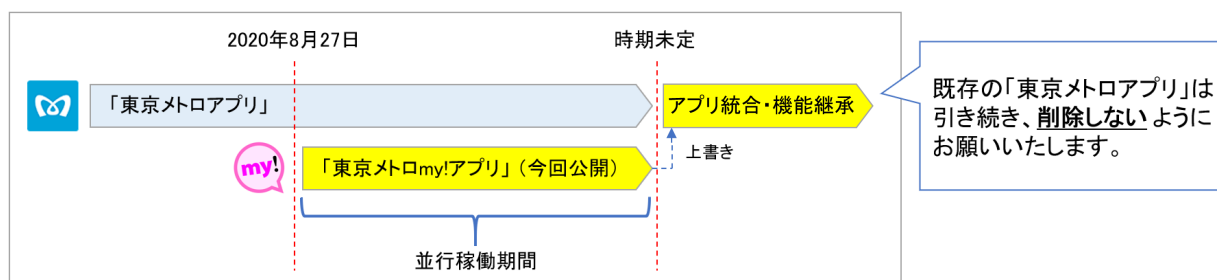
(Google Play)

6 利用方法（ダウンロード方法）

東京メトロ my!アプリサイト（<https://www.tokyometro.jp/mobiledevice/smartphone/my>）より、iOS の場合は App Store のダウンロードページに、Android 搭載スマートフォンの場合は Google Play のダウンロードページに移動できます。また、App Store または Google Play で「東京メトロ my」と検索いただいてもダウンロード可能です。

7 段階的リニューアルについて（既存の「東京メトロアプリ」との並行稼働について）

今回公開する「東京メトロ my!アプリ」と、既存の「東京メトロアプリ」は、下記図のように当面の間、両方ともご利用いただくことが可能です。



※ 並行稼働期間経過後は、両アプリを統合する予定です。統合時期が決まり次第お知らせします。

8 「東京メトロ my!アプリ」特設サイト

詳細は特設サイト <https://www.tokyometro.jp/mobiledevice/smartphone/my> をご覧ください。

9 お客様のお問い合わせ先

東京メトロお客様センター TEL 0120-104106（9:00～20:00／年中無休）



※ iPhone, App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
※ Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

①トップページ



⇒ トップページで・運行情報・列車走行位置を一目で確認可能 ※東京メトロ9路線 都営地下鉄4路線 に対応

②運行情報



【△】15分以上の遅れがあるとき等 【×】運転見合わせ 折り返し運転時等 ⇒ 路線や時間帯を指定して通知が可能

③列車走行位置 (詳細画面)



⇒ 各駅の時刻表・駅構内図・乗換路線 列車内の混雑状況をワンタッチ確認

④混雑状況 (列車内・改札口)



「混雑見える化」は3種類

- (1) 列車内の混雑状況 東京メトロ 全9路線 342区間を確認可能 【隔週更新・前々週実績】※ (2) 改札口の混雑状況 東京メトロ管理駅全駅 171駅を確認可能 【毎週更新・前週実績】※ (3) 銀座線渋谷駅カメラ画像 改札口前のリアルタイムな流動を表示【約1分更新】 ※初回はお盆期間を避け8月上旬実績を表示

⇒ 比較的すいている時間帯・駅を確認して、混雑を避ける移動の参考に。

⑤マルチモーダル経路検索



⇒ 首都圏の経路検索が無料 ⇒ 今後も「ひと駅歩く検索」など検索モードを拡張予定

⑥経路検索結果 (詳細)



⇒ 運転見合わせがある場合は迂回ルートの検索にも対応 都営バスの走行位置も確認可能

⑦各駅情報の選択



⑧各駅情報の表示例



⇒ 例えば、経路検索した駅の「レッツエンジョイ東京」のページをワンタッチで表示

(経路検索対象モビリティ)

- ◆鉄道・軌道: 東京メトロ、都営地下鉄、東京さくらトラム(都電荒川線)、日暮里・舎人ライナー相互直通運転を行う鉄道会社をはじめとする首都圏鉄道各線、東京BRT(予定) ◆バス: 都営バス、コミュニティバス(台東区循環バス「めぐりん」など)、空港連絡バス ◆シェアサイクル: HELLO CYCLING、bike share service ◆タクシー: 「JapanTaxi」アプリ、S.RIDE

※ 経路検索機能は、株式会社ナビタイムジャパンの経路探索エンジンをベースに新たに開発します。

※ 2020年8月27日時点

1 タクシーアプリ「JapanTaxi」(※1)及び「S.RIDE」(※2)との連携

①経路検索結果の「タクシーを呼ぶ」ボタンを押す



鉄道とタクシーを
組み合わせた経路
を検索可能

例えば、目的地の
最寄駅から離れた
駅からタクシーで
ショートカット可能

②タクシーアプリ選択



③経路検索の結果を引き継いで、各アプリを立ち上げ



タクシー乗車位置
(六本木一丁目駅)
タクシー降車位置
(目的地)情報を
引き継いだ状態で
JapanTaxiアプリ
を立ち上げます。

「今すぐ呼ぶ」
ボタンを押すと
タクシーを配車



タクシー乗車位置
(六本木一丁目駅)
タクシー降車位置
(目的地)情報を
引き継いだ状態で
S.RIDEを立ち上げ
ます。

黄色い部分を
スライドすると
タクシーを配車

※1「JapanTaxi」アプリは、株式会社Mobility Technologies
(本社：東京都千代田区 代表取締役社長：中島 宏)が
提供するタクシーアプリです。

※2「S.RIDE」は、みんなのタクシー株式会社(本社：東京都
台東区 代表取締役社長：西浦 賢治)が提供するタクシー
アプリです。※S.RIDEはみんなのタクシー株式会社の商標です。

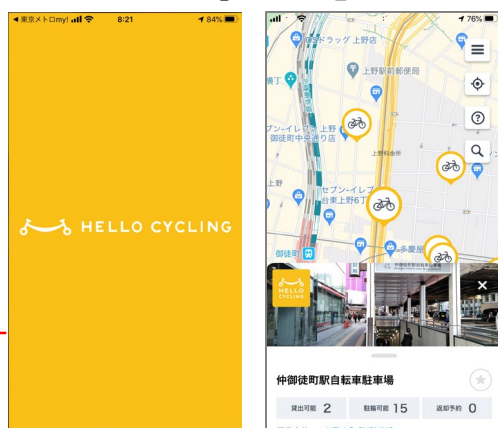
2 シェアサイクルサービス「HELLO CYCLING」(※3)及び「bike share service」(※4)との連携

①HELLO CYCLINGの駐輪拠点を踏まえた経路検索を実施

②経路検索結果の「シェアサイクルを予約する」ボタンを押す



③経路検索の結果(乗車箇所)を引き継いで「HELLO CYCLING」アプリを立ち上げ



⇒ステーション
(駐輪拠点)ごとの
・貸出可能台数
・返却可能台数 の
目安(O/△/×)を
リアルタイムで
確認できます

④詳細表示・予約



①bike share serviceの駐輪拠点を踏まえた経路検索を実施



両サービスともに、駐輪拠点を踏まえた
「地下鉄+シェアサイクル」の経路検索を実現

⇒②経路検索結果の「シェアサイクルを予約する」
ボタンを押すと、ドコモ・バイクシェアのweb
サイトへ遷移します(アプリとも今後連携予定)

※4「bike share service」は、
株式会社ドコモ・バイクシェア
(本社：東京都港区 代表取締役：堀 清敬)
が提供するシェアサイクルサービスです。

※3「HELLO CYCLING」は、OpenStreet株式会社
(本社：東京都港区 代表取締役：横井 晃)が提供する
シェアサイクルサービスです。